

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2003-161805 (P2003-161805A)

【公開日】平成 15 年 6 月 6 日 (2003.6.6)

【出願番号】特願 2002-223127 (P2002-223127)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 1/10

B 3 2 B 27/20

C 0 8 K 3/00

C 0 8 L 101/14

C 0 9 D 5/00

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

G 0 2 B 1/11

G 0 3 B 13/06

G 0 3 B 17/02

【F I】

G 0 2 B 1/10 Z

B 3 2 B 27/20 Z

C 0 8 K 3/00

C 0 8 L 101/14

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

G 0 3 B 13/06

G 0 3 B 17/02

G 0 2 B 1/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学素子と、前記光学素子の上に形成した、吸水性高分子を有する第 1 の吸水層とを備える光学物品であって、前記第 1 の吸水層の吸水性高分子に、前記吸水性高分子よりも屈折率の高い無機物質を混合したことを特徴とする光学物品。

【請求項 2】

前記無機物質が、無機微粒子であることを特徴とする請求項 1 記載の光学物品。

【請求項 3】

前記無機物質が S i O 2 微粒子または T i O 2 微粒子であることを特徴とする請求項 1 記載の光学物品。

【請求項 4】

前記無機微粒子が、微粒子のまま前記第 1 の吸水層中に混合されていることを特徴とする請求項 2 又は 3 記載の光学物品。

【請求項 5】

前記無機微粒子が、5 nm以上20 nm以下の径を有する微粒子として前記第1の吸水層中に含まれていることを特徴とする請求項2乃至4いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 6】

前記第1の吸水層に混合される無機物質の割合が、10～40 w %であることを特徴とする請求項1乃至5いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 7】

前記第1の吸水層の厚さが1 μm以上20 μm以下であることを特徴とする請求項1乃至6いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 8】

前記無機物質の屈折率 n_d が1.70より大きいことを特徴とする請求項1乃至7いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 9】

前記第1の吸水層の上に、高屈折率層と、該高屈折率層の上に吸水性高分子を含む第2の吸水層とを有することを特徴とする請求項1乃至8いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 10】

前記第2の吸水層が前記無機物質を含んでいることを特徴とする請求項9記載の光学物品。

【請求項 11】

前記第2の吸水層の膜厚が1 μm未満であることを特徴とする請求項9又は10記載の光学物品。

【請求項 12】

前記第2の吸水層の膜厚が200 nm未満であることを特徴とする請求項9乃至11いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 13】

前記高屈折率層と前記第2の吸水層を1単位とする反射防止層を、複数積層していることを特徴とする請求項9乃至12いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 14】

前記第1の吸水層と前記光学物品の基材との屈折率差が、0.05以下であることを特徴とする請求項1乃至13いずれか1項記載の光学物品。

【請求項 15】

前記第1の吸水層と前記光学物品の基材との屈折率差が、0.02以下であることを特徴とする請求項1乃至13いずれか1項記載の光学物品。